

別表7 安全ネットの性能

- 1 引張試験を行う場合の試験室の状態は、 $20 \pm 2^\circ\text{C}$ の温度及び $65 \pm 0.5\%$ の湿度とすること。
 ただし、試験室が上記の状態に保たれない場合は、試験時の温度及び湿度を付記すること。
- 2 安全ネット、網糸、縁綱及び吊綱の強度は、次の表の左欄に掲げる試験方法による試験を行った場合に、それぞれ同表の右欄に掲げる強度を有するものであること。

試 験 方 法	強 度
<p>(網糸の引張試験)</p> <p>安全ネットの網糸の引張強度試験は、次によるものとし、引張速度は $15 \text{ cm/min} \sim 30 \text{ cm/min}$ とする。</p> <p>(1) 試験用糸 (片) によるもの以外の網糸の試験片は、ネットに使用されている網地から切り取る。</p> <p>(2) 無結節ネットの網糸の引張強度試験にあつては、網糸の両端を網糸の径の5倍以上の外径のドラムに巻き付けて行うものとし、ドラムの中心間距離は 20 cm を標準とする。</p> <p>(3) ラッセルネットの網糸の引張強度試験にあつては、次の図に示す1本2節の状態で行う。</p> <p>(4) かえるまた結節ネットの網糸の引張強度試験にあつては、網糸のよりがほどけない状態で次の図に示す結び目 (ループ結節) を試験片の中心に設けて行うものとし、試験片の有効長さは 20 cm を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">網糸の引張試験方法の図</p> </div>	<p>網糸の引張強度は、(別表) によること。</p>

(別表) 安全ネットの網糸の新品時における引張強度は、次の表の値とする。
 新品時における網糸の引張強度

単位 (kN)

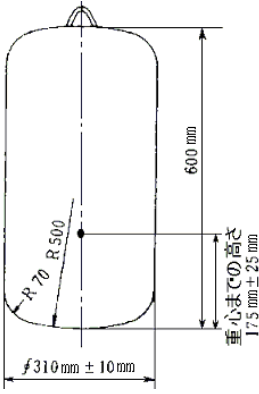
網目の 大きさ (cm)	無結節網地		ラッセル網地		かえるまた網地	
	平均値	最小値	平均値	最小値	平均値	最小値
10	2.36 以上	2.16 以上	2.06 以上	1.87 以上	1.96 以上	1.77 以上
5	—	—	1.13 以上	1.03 以上	1.08 以上	0.98 以上
3.0	—	—	0.74 以上	0.69 以上	—	—
1.5	—	—	0.40 以上	0.35 以上	—	—

(注) 網目の大きさが 5 cm を超え 10 cm 未満のもの、3 cm を超え 5 cm 未満のもの及び 1.5 cm を超え 3 cm 未満のものにあつては、それぞれの値により求めた直線補間値以上とする。

(縁綱及び吊綱の引張強度試験) 安全ネットの縁綱及び吊綱の引張強度試験は、引張速度を 15 cm/min~30 cm/min で行うものとする。試験片は、ネットに使用されているロープから切り取るものとする。	引張強度の最大値が 14.7kN 以上であること。
--	---------------------------

3 安全ネットの落すいによる性能試験

安全ネットの落すいによる性能は、次の表の左欄に掲げる試験方法による試験を行った場合に、同表の右欄に掲げる強度を有するものであること。

試験方法	強度
<p>(安全ネットの落すいによる性能試験)</p> <p>安全ネットの落すいによる性能試験の方法は、次によるものとする。</p> <p>安全ネットを四隅及び各辺の中間部で支持する 8 点支持の状態です。落すい試験設備のつり具に取り付け、安全ネットの中央部に重すい(注1)を所定の高さ(注2)から落下させること。</p> <p>注1: 落すい試験に用いる重すいは、90kg であつて、かつ、形状が次の図に示すような円筒状のもので、その軸心上の重心付近に加速度計を取り付けること。</p> <p>注2: 所定の高さとは、安全ネットの支持点より上方 0.75L の位置とする。ただし、L は安全ネットの短辺長 (m) とする。</p> 	<p>1 減速度が 147m/s^2 以下であること。</p> <p>2 網地に著しい損傷及び貫通がないこと。</p>